

徳島県

埋蔵文化財センター年報

Vol.28 2016年度

2018

公益財団法人 徳島県埋蔵文化財センター



加茂宮ノ前遺跡遠景（北から）



加茂宮ノ前遺跡 水銀朱精製関連遺物

はじめに

本書は、平成28年度に公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターが実施した事業の概要をまとめたものです。

本年度も当法人では、徳島県から委託を受け、発掘調査・出土品整理・普及事業などを実施しました。

発掘調査では、国の那賀川床上浸水特別緊急事業、県の街路事業・緊急地方道路整備事業・道路改築事業に伴って、加茂宮ノ前遺跡・徳島城下町跡新南福島1丁目地点・中山路遺跡・川原田遺跡の4遺跡の発掘調査を実施しました。この内、加茂宮ノ前遺跡は今年度初めて発掘に着手した遺跡ですが、数多くの辰砂関係遺物が出土したことにより、辰砂採掘遺跡として著名な若杉山遺跡との関連が注目されています。

出土品整理では、清成遺跡の整理と報告書の刊行、新居見遺跡・川西遺跡の整理を行いました。

普及では、速報展「2016 発掘とくしま」とその関連行事を実施したほか、「ゴールデンウィーク勾玉づくり」や「夏休みおもしろ古代体験」などを実施し、多くの来館者に様々な体験活動を楽しんでいただきました。

また、四国地区埋蔵文化財センター巡回展「発掘へんろ」は、今年度、戦国時代の四国をテーマとして開催しました。展示及び関連行事に予想を超える来館者、参加者を迎えることができ、戦国時代や中世城館に対する県民の皆さんのが強い関心を感じたところです。

当法人は、本年度も引き続き県立埋蔵文化財総合センター（レキシルとくしま）の指定管理者として、児童生徒の皆さんをはじめ、多くの県民の方々に親しみやすい施設運営に今後とも努力して参りたいと考えていますので、引き続き、関係の皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げる次第です。

公益財団法人 徳島県埋蔵文化財センター

理事長 福家清司

目 次

公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの概要	3
I 平成 28 年度 公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの組織	5
II 平成 28 年度 事業概要	6
III 調査事業報告	9
調査事業一覧	10
加茂宮ノ前遺跡	11
徳島城下町跡新南福島 1 丁目地点	12
中山路遺跡	13
川原田遺跡	14
IV 整理事業報告	15
V 普及事業報告	
1 管理運営業務	16
2 徳島県立埋蔵文化財総合センター（対象施設）の管理運営業務	16
3 いにしえから未来へ！「とくしまの歴史文化」発見・発信プロジェクト事業 埋蔵文化財速報展『2016 発掘とくしま』の実施	20
4 その他の普及事業	20

例 言

- 1 本書は公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの平成 28 年度事業をまとめた年報である。
- 2 III調査事業報告に関する地形図は国土地理院発行 1 / 50,000 地形図を転載したものであり、各図に図幅名を記した。
- 3 III調査事業報告、V 普及事業の概要は各担当者が執筆し、その責を文末に記した。また、全体の編集については氏家が行った。

公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの概要

1 設立の目的

徳島県内における埋蔵文化財（出土した文化財を含む。）の調査・研究に関する事業を行い、文化財保護意識の啓発普及を図り、もって地域文化の振興に寄与することを目的とする。

2 設立年月日

平成元年 4 月 1 日（平成 22 年 4 月 1 日公益財団法人移行）

3 事業内容

- (1)埋蔵文化財の発掘調査及び研究を行う事業
- (2)出土した文化財の整理及び保存を行う事業
- (3)埋蔵文化財の活用及び保護意識の啓発普及に関する事業
- (4)徳島県立埋蔵文化財総合センターの管理運営に関する事業
- (5)その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4 資産及び会計

- (1)資産構成 財団設立当初の財産、寄附金品、事業収入、資産収入、その他の収入
- (2)資産種別 基本財産、運用財産
- (3)事業年度 每年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで
- (4)基本財産 10,000,000 円
- (5)決算額 322,266,800 円（平成 28 年度事業収入）

5 評議員

- (1)評議員 5 名（定数 3 名以上 5 名以内）
- (2)任期 4 年
- (3)評議員会
 - ①権限 ア 評議員、理事及び監事の選任及び解任
イ 貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれら附属明細書の承認
ウ 定款の変更等
 - ②開催 定時評議員会（年 1 回開催）、臨時評議員会

6 役員

- (1)理事 9 名（定数 3 名以上 10 名以内）
理事のうち 1 名を理事長、1 名を副理事長、1 名を専務理事、1 名を常務理事とする。
- (2)監事 2 名（定数 2 名以内）
- (3)任期 2 年
- (4)理事会
 - ①権限 ア 法人の業務執行の決定
イ 理事の職務の執行の監督
ウ 理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の選定及び解職
 - ②開催 通常理事会（年 2 回開催）、臨時理事会

7 主たる事務所

(1)徳島県立埋蔵文化財総合センター内

①所在地 徳島県板野郡板野町大伏字平山 86 番 2

②敷地面積 16,093m²

③建物 鉄筋コンクリート造 2 階建（一部鉄骨造）255,405m²

事務所、研究員室、展示室、図書資料室、情報処理室、分析室、機材保管室、整理復元室、写真撮影室、木器、鉄器処理室等

8 事務局職員（平成 28 年 4 月 1 日現在）

(1)常勤職員 20 名

内 訳 派遣職員等 4 名、財団職員 9 名、嘱託職員 4 名、研究補助員 3 名

(2)非常勤職員 21 名

内 訳 調査補助員 4 名、整理作業員 17 名

I 平成 28 年度 公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの組織

平成 28 年 4 月 1 日現在

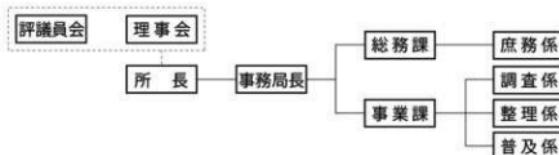
1 評議員・役員

評議員	天羽 利夫	鳥居龍藏を語る会代表
	木原 克司	元鳴門教育大学大学院教授
	村澤 普恵	徳島大学国際コーディネーター
	仁義 知得	元県立美術館長
	伊丹 康裕	元県中央児童相談所長
理事長	福家 清司	所長
副理事長	美馬 持仁	県教育委員会教育長
専務理事	丸居 昭彦	事務局長
理事	真鍋 俊照	四国大学教授・大日寺住職
	佐々木清克	元県立文書館長
	兩角 芳郎	元県立博物館長
	吉田 一紀	元県教育委員会文化財課長
	竹原 紀幸	元県教育委員会教育文化政策課長
	草野 純一	県教育委員会教育文化課長
監事	長地 孝夫	公認会計士
	阿部 淳子	県教育委員会生涯学習課長

2 職 員

所長（理事長）	福家 清司	◇事業課
事務局長（専務理事）	丸居 昭彦	課長 藤川 智之
◇総務課		調査係
課長	藤田 吉則	専門研究員 原 芳伸、田川 憲
庶務係		研究補助員 木下理恵子、曾根 大地
主任主事	上松健一郎	整理係
事務嘱託員	細田 愛美	課長補佐 氏家 敏之
"	美間絵梨子	専門研究員 栗林 誠治、近藤 玲
"	山田 里菜	主任研究員 岡田 圭司
		研究補助員 三好 愛美
		普及係
		普及係長 木村 哲也
		専門研究員 大北 和美
		事務嘱託員 濱 佳緒里

3 組織図



II 平成 28 年度事業概要

1 評議員会・理事会の開催状況について

(1) 第 26 回 書面理事会

開催日 平成 28 年 4 月 1 日（金）
議 案 理事及び監事の選任について

(2) 第 13 回 書面評議員会

開催日 平成 28 年 4 月 1 日（金）
議 案 理事及び監事の選任について

(3) 第 27 回 通常理事会

開催日 平成 28 年 5 月 18 日（水）
議 案 平成 27 年度事業報告について
平成 27 年度事業取支決算について
理事及び監事の選任について

(4) 第 14 回 定時評議員会

開催日 平成 28 年 6 月 1 日（水）
議 案 平成 27 年度事業報告について
平成 27 年度事業取支決算について
理事及び監事の選任について

(5) 第 28 回 書面理事会

開催日 平成 28 年 6 月 1 日（水）
議 案 理事長を選定する件について
副理事長を選定する件について
専務理事を選定する件について

(6) 第 29 回 通常理事会

開催日 平成 29 年 3 月 28 日（火）
議 案 平成 28 年度事業計画の変更について
平成 28 年度事業取支予算の補正について
平成 29 年度事業計画について
平成 29 年度事業取支予算について

2 事業の実施状況について

(1) 埋蔵文化財発掘調査業務

県から委託を受けて、次の4事業に関連する4遺跡、表面積10,301m²、のべ13,887m²の発掘調査業務を行った。

①平成28年度那賀川床上浸水特別緊急事業関連埋蔵文化財発掘調査業務（加茂堤防）

遺跡名 加茂宮ノ前遺跡 調査面積 表面積 5,624m²（のべ 6,693m²）

②平成28年度街路事業（住吉・万代・圓瀬橋線）関連埋蔵文化財発掘調査業務

遺跡名 徳島城下町跡新南福島1丁目地点 調査面積 表面積 600m²（のべ 1,800m²）

③平成28年度緊急地方道路整備事業（道の駅）関連埋蔵文化財発掘調査業務

遺跡名 中山路遺跡 調査面積 表面積 2,250m²（のべ 2,250m²）

④平成28年度道路改築事業（徳島環状線 国府・藍住工区）埋蔵文化財発掘調査業務

遺跡名 川原田遺跡 調査面積 表面積 1,827m²（のべ 3,144m²）

(2) 埋蔵文化財出土品整理業務

県からの委託を受けて、次の3事業に関連する3遺跡の出土品整理を行い、清成遺跡の報告書の刊行を行った。

①一般国道192号徳島南環状道路（川西地区）関連埋蔵文化財整理業務

遺跡名 川西遺跡 整理箱数 140 箱

②四国横断自動車道（河南～徳島東）（新居見地区）関連埋蔵文化財整理業務

遺跡名 新居見遺跡 整理箱数 280 箱

③平成28年度徳島県立農林水産総合技術支援センター整備運営事業に係る埋蔵文化財整理業務

遺跡名 清成遺跡 整理箱数 210 箱

(3) 平成28年度徳島県立埋蔵文化財総合センター収蔵庫等管理業務

県立埋蔵文化財総合センターに収蔵されている埋蔵文化財の管理と普及に関する業務を実施した。

(4) 遺物保存処理等業務

埋蔵文化財保護の拠点である県立埋蔵文化財総合センターにおける収蔵品等の検索システムの構築、遺物保存処理等の業務を実施した。

(5) いにしえから未来へ！「徳島の歴史文化」発見・発信プロジェクト事業

埋蔵文化財発掘調査業務の成果を広く還元するために、埋蔵文化財速報展「発掘とくしま」及び関連行事を実施した。

(6) 徳島県立埋蔵文化財総合センターの管理運営業務

県教育委員会から指定された同センターの指定管理者として、適切な管理運営業務を行った。

3 平成 28 年度収支決算

公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの平成 28 年度の収支決算等は次のとおりである。

(1) 収入の部

(単位：円)

科 目	平成 27 年度	平成 28 年度	比較増減額	備 考
1 基本財産運用収入	30,000	25,014	△ 4,986	
2 事 業 収 入	318,204,400	322,266,800	4,062,400	
3 特定資産運用収入	7,569	7,076	△ 493	
4 雜 収 入	583,530	460,900	△ 122,630	
5 繰 越 金	3,030,837	3,030,837	0	
合 計	321,856,336	325,790,627	3,934,291	

(2) 支出の部

(単位：円)

科 目	平成 27 年度	平成 28 年度	比較増減額	備 考
1 事 業 費	275,560,685	280,070,295	4,509,610	
2 管 理 費	43,264,814	42,689,495	△ 575,319	
合 計	318,825,499	322,759,790	3,934,291	

(3) 平成 28 年度収支差額

収入額合計 325,790,627 円

支出額合計 322,759,790 円

次期繰越額 3,030,837 円

(4) 事業量の推移

年 度	発掘面積 (m ²)	整理コンテナ数 (箱)	総事業費 (円)
平成元	28,480	2,168	156,518,712
2	192,320	—	901,759,018
3	79,169	1,994	373,471,037
4	62,871	1,237	288,440,306
5	17,414	708	411,395,390
6	22,206	572	466,667,478
7	98,707	819	1,806,576,390
8	246,852	1,016	3,073,287,360
9	102,161	1,145	3,471,304,650
10	72,204	2,655	1,746,591,400
11	53,253	2,783	1,879,475,750
12	92,473	2,403	2,231,271,799
13	92,745	2,800	1,907,957,562
14	92,714	2,800	1,772,501,177
15	73,738	2,817	1,517,108,520
16	27,328	2,803	963,345,800
17	24,596	2,800	942,687,000
18	28,150	2,800	855,382,500
19	28,711	2,940	879,415,900
20	21,365	700	467,417,000
21	22,680	480	465,879,000
22	22,504	420	379,320,800
23	28,284	140	402,160,600
24	26,264	280	451,607,000
25	22,403	525	399,380,000
26	11,286	770	326,941,160
27	20,623	700	318,204,400
28	13,887	630	322,759,790

III 調査事業報告

県からの委託を受けて次の4事業に関連する4遺跡、表面積10,301m²、のべ13,887m²の発掘調査業務を行った。

調査対象地となったのは、徳島市・阿南市・美馬市である。

徳島市では、徳島城下町跡新南福島1丁目地点の調査を実施した。県が進めるいわゆる「内環状事業」に関する、初めての埋蔵文化財調査である。調査地点は、徳島城下町を構成する「福島」の南端にあたり、武家屋敷や町家・御船屋とそれに伴う船大工の住居などが築かれた一角である。絵図との照合により、道路などの形状から街区の比較が可能で、調査地点は幕末期には上田家・山川家の屋敷地が存在した。検出された遺構面は3面あり、最も新しい第1遺構面は第2次大戦に伴う焼土などで覆されていた。遺構面全面にわたって擾乱が多く見られたこともあり、明確な建物跡は確認されていない。第3遺構面にかけて瓦の大量の出土があり、いずれの遺構面も18世紀以降で時期差はない。平成29年度以降も事業の進捗と連動して、発掘調査などが実施される見込みである。

川原田遺跡（徳島市国府町）は徳島環状線関係の埋蔵文化財のうち、試掘調査により北端にあたることが確定しており、今回の調査地点は北端周辺の地点である。これまでの調査で、現在の川原田集落に近い地点では建物跡などの集落関連遺構が確認されているが、南北に離れるに従って水田域へと移り変わる。今回の調査地点では土壇墓などの遺構はみられたものの、集落に伴う遺構の検出は少ない。遺物からみてこの地点での開発は16世紀後半以降と考えられる。

加茂宮ノ前遺跡（阿南市加茂町）は一級河川那賀川および支流である加茂谷川の浸水対策事業に伴う。同様の事業として行われた深瀬遺跡（阿南市深瀬町岡崎）の那賀川を挟んだ対岸の位置に当たる。調査地のほぼ全域において、弥生時代～古墳時代と鎌倉時代～室町時代の遺構が検出された。弥生～古墳時代では、竪穴住居が5棟のほか溝や土坑が検出された。また、中世の遺構では掘立柱建物とそれに伴う柱穴のほか、集落域の区画溝や土壇墓が検出された。最も注目されるのは、水銀朱精製にかかる遺物の出土である。砂岩製の叩き石・磨石（石杵）や台石（石臼）に加えて、原石とみられるチャート製石材には水銀朱が付着していた。加茂宮ノ前遺跡の南西5キロには、原石採掘地における水銀朱精製が確認された若杉山遺跡（阿南市水井町）がある。隣接とも言える集落遺跡で水銀朱精製を行っていたことは重要な意義がある。徳島県内のみならず広範囲への水銀朱搬出の拠点であったことが想定されるが、現状では疑問点も多い。若杉山遺跡では原石が石灰岩であり、石器類の使用痕跡が異なること、加茂宮ノ前遺跡では弥生時代中期末から古墳時代前期初頭までと稼働期間が長いとみられるものの、精製工房と考えられる遺構がないこと、などがあげられる。おりしも、徳島県教育委員会では、若杉山遺跡など赤色顔料精製遺跡の現状把握のための事業を実施しており、相互の遺跡の内容には関連する要素が多くある。平成29年度以降の調査では、これらの解明が課題となる。（藤川）

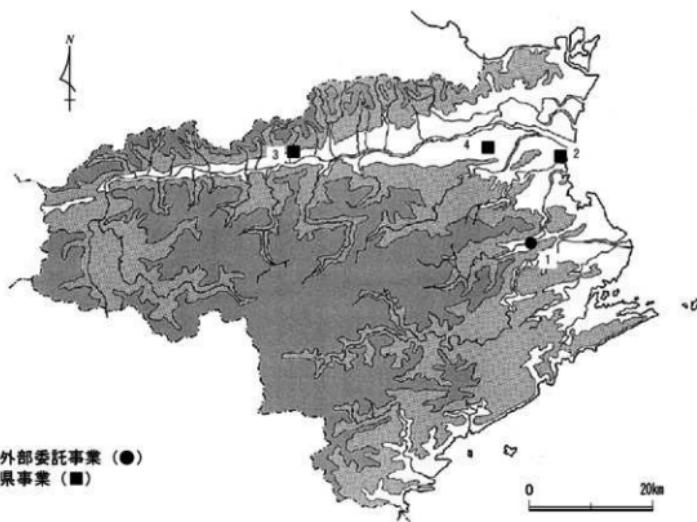
調査事業一覧

外部委託事業等関連埋蔵文化財発掘調査業務一覧

遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
1 加茂宮ノ前遺跡	阿南市加茂宮ノ前	5,624m ² (表面積) 6,693m ² (のべ面積)	H28.8.1 ~ H29.3.31	○弥生時代 平安時代 鎌倉時代 ○室町時代	竪穴住居・土坑・ 土壙基・小穴・溝	弥生土器・石器・須恵器・ 土師器・陶器・磁器

県事業等関連埋蔵文化財発掘調査業務一覧

遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
2 徳島城下町跡 新福島1丁目 地点	徳島市新南福島1丁目	600m ² (表面積) 1,800m ² (のべ面積)	H28.4.1 ~ H28.7.31	○江戸時代	小穴・溝・土坑	陶磁器・鉄製品・銅製品
3 中山路遺跡	美馬市美馬町宇賀野寺	2,250m ²	H28.4.1 ~ H28.9.30	弥生時代 古墳時代 ○飛鳥時代 奈良時代	小穴・土坑	弥生土器・石器・土師器・ 須恵器・青銅製品・鉄製品
4 川原田遺跡	徳島市国府町西野字川原田	1,827m ² (表面積) 3,144m ² (のべ面積)	H28.10.1 ~ H29.3.31	○室町時代	水田遺構(畦畔・溝)	土師器・須恵器・陶磁器・ 錢貨



発掘調査地点位置図

加茂宮ノ前遺跡

所在地 阿南市加茂町宮ノ前

調査期間 平成28年8月1日～平成29年3月31日

担当者 田川 岡田 木下 森本

調査概要 加茂宮ノ前遺跡は那賀川の右岸、標高約26mの自然堤防上に立地している。遺跡の南西約5kmには辰砂採掘遺跡である若杉山遺跡があり、水銀朱の加工までを行っている。また、那賀川の東北側対岸には縄文時代～中世に至る集落遺跡である深瀬遺跡があり、朱が付着した弥生時代の石杵・石皿が出土しており、本遺跡との関連が注目される。

遺構と遺物 今回の発掘調査では、弥生時代～古墳時代と鎌倉時代～室町時代の集落跡が確認された。弥生時代の遺構では中期後半～古墳時代前期初頭の竪穴住居跡5棟と土坑や溝などの遺構を発見した。その内、3棟の住居跡やその周辺の遺構から水銀朱精製に関わる石杵や石臼などの石器23点と辰砂原石12点が出土し計35点を数える。これは県内の辰砂関係遺跡では若杉山遺跡に次ぐ出土数である。

中世の遺構では北宋銭を中心とした一括大量出土銭と副葬品をもつ土壙墓などを確認した。一括大量出土銭は約千点の出土数があり、出土状況から縮銭の状態であったと考えられる。土壙墓では遺構内の南西隅に青磁碗と銅鏡をセットで副葬している状況が確認できた。

まとめ 辰砂の精製に関する特徴としては、石杵や石臼類には砂岩の自然石を使用しており、出土石器の朱が付着した部分は使用による摩滅が少ない。また残された辰砂原石は小型で、母岩はチャートに限定される。そして1号住居跡の年代は弥生時代中期後半で原産地に立地する若杉山遺跡の操業年代よりも古いことなどが明らかとなった。(田川)



1 調査地の位置（阿波富岡）



2 弥生時代～古墳時代・中世の遺構面完掘状況



3 石杵出土状況



4 青磁碗と銅鏡を副葬した土壙墓

徳島城下町跡新南福島1丁目地点

所在地 徳島市新南福島1丁目

調査期間 平成28年4月1日～平成28年7月31日

担当者 田川 木下

調査概要 調査地点は助任川左岸、新町川との合流地点の北側に位置し、遺跡の標高は0.8m前後である。調査区の南側および東側に接する現有道路は、徳島城下町絵図(『阿波国徳島城之図』)や『御城下絵図(題簽)』にもその姿をとどめている。また、調査区近辺では平成13・14年度には徳島県立城東高校の校舎建て替えに伴う発掘調査が中徳島1丁目地点で行われており、武家屋敷等の区画溝や集石遺構・宗教関連遺物が確認された。また平成12・18・19年度には徳島東環状道路建設に伴って、安宅2丁目地点の発掘調査が行われており、徳島藩の水軍の根拠地である「安宅役所」に関する遺構が確認されている。

遺構と遺物 本調査では、主に18世紀代を中心とした遺構・遺物が確認された。遺構面は1-A区3面、1-B区3面の計6枚が検出された。1-A区から検出されたSD1001は調査区を南西に位置しており、結晶片岩の板石を連続して「L」字状に配した溝が確認された。これは屋敷地内をさらに区画し建物を配することを目的とした遺構であると思われる。遺物には陶器皿や軒丸・軒平・装飾などの瓦のほか、石製品、鉄製品、古錢などがあり、釘、砥石なども出土している。これからのことから調査地点およびその周辺でも船大工に関係する建物が存在していたと推測される。

まとめ 今回の発掘調査では、明確に徳島城下町成立期の遺構面までを特定することはできなかった。しかし、平成10年度に実施された発掘調査に続く福島地区での調査事例であり、今後継続する事業の先鞭をつけられた意義は大きい。(木下)



1 調査地の位置 (徳島)



2 遺跡遠景 (南から)



3 屋敷地の境と見られる列石



4 主な出土遺物

中山路遺跡

所在地 美馬市美馬町字願勝寺 69-2
調査期間 平成28年4月1日～平成28年9月30日
担当者 原 曽根

調査概要 中山路遺跡は、徳島県北西部、美馬市美馬町字願勝寺に所在する。美馬町周辺には旧石器時代から中世に至るまで多くの遺跡が知られ、調査地点は、標高 75 m 前後の美馬町内を南流する鍋倉谷川によって土砂・礫が堆積し形成された扇状地と吉野川によって形成された自然堤防上に立地している。

発掘調査は、この扇状地上の緩斜面を対象として調査区を設定した。近接して、飛鳥時代の建立である国指定史跡 郡里廃寺跡が所在し、郡里廃寺跡周辺には、「郡里」のほか、「駅」「駅次」の地名があることから、郡衙や駅家などの古代の官衙に関連する遺跡の存在が想定されている。

遺構と遺物 発掘調査の結果、古墳時代後期～飛鳥時代～奈良時代前葉頃の遺構・遺物が確認された。遺構の遺存度は低いが、青銅鏡・銅鏡・円面鏡・蓮華文軒丸瓦など稀少な遺物が出土した。

青銅鏡は儀礼用のウマに装着され、古墳に副葬されることが多い。銅鏡は仏具の一部で、寺院で用いられるほか、古墳に副葬される場合もある。鏡・鏡とともに県下初の出土である。円面鏡・軒丸瓦は通常の集落にはみられず、そのほとんどが寺院または官衙で出土する。

まとめ 以上の出土遺物から、郡里廃寺跡の寺院の造営や維持管理に関する施設があったと推定される。また、郡里廃寺跡との関連から、地方豪族の勢力の誇示が古墳から寺院へと移行する時期にあたり、時代転換を象徴する遺物の出土は非常に貴重である。(原)



1 調査地の位置（脇町）



2 単弁十二葉蓮華文軒丸瓦



3 調査地点と郡里廃寺跡（西から）

川原田遺跡

所在地 徳島市国府町西野字川原田
調査期間 平成28年9月1日～平成29年3月31日
担当者 原曾根

調査概要 川原田遺跡は徳島市国府町に所在する。国府町は、徳島県の北部を東流する吉野川の下流部に形成された三角州地帯の平野部に位置する。川原田遺跡は、鮎喰川の堆積作用によって形成された三角州性扇状地に立地する。扇頂は国府町延命、扇端は国府町井戸付近であり、川原田遺跡の調査地点の現地盤高は標高約 L=5.0～7.0m である。

遺構と遺物 今年度は、C 区・G 区と仮称した調査区を対象として調査を実施した。

G 区では第1・第2 遺構面とともに、水田耕作に伴うと思われる畦畔が出土し、水田面が展開していることがわかった。

C 区からは、小穴や土壙墓とみられる 6 基の長方形土坑が出土した。長方形土坑は調査区南部に集中して群を形成しており、さらに南側に墓域として展開する可能性が考えられる。

出土遺物には、主に備前・瀬戸・唐津・伊万里などの陶・磁器がみられる。概ね遺構面の時期は 16 世紀前半から後半頃と思われる。

まとめ 川原田遺跡は、前述したように鮎喰川や飯尾川などによって形成された微高地上に展開しており、今回調査した G 区では微高地の縁辺部が確認され、遺跡の北限にあたると思われる。

川原田遺跡は、調査範囲の制約上、現況では遺跡の全体を把握するには至らないが、これまでの調査成果から、微高地に展開する集落を挟み、南北に水田などの耕作地が展開していることが明らかになりつつある。(原)



1 調査地の位置（石井）



2 G 区第2 遺構面全景（南から）



3 主な出土遺物

IV 整理事業報告

徳島県からの委託を受け、次の3事業3遺跡の出土品整理業務を実施した。



川西遺跡 遺物洗浄作業



新居見遺跡 復元作業



清成遺跡 トレース作業



清成遺跡 写真編集作業

出土品整理業務一覧

事業名	遺跡名	所在地	整理期間	担当者名	整理概要	備考
一般国道192号徳島南環状道路（川西地区）関連埋蔵文化財整理業務	川西遺跡	徳島市上八町	H28.4.1～H29.3.31	近藤	遺物洗浄、接合、復元、遺物実測、観察表入力、トレース図作成等	
四国横断自動車道（河内～徳島東）（新居見地区）関連埋蔵文化財整理業務	新居見遺跡	小松島市新居見町	H28.4.1～H29.3.31	栗林、三好	遺物洗浄、接合、復元、遺物実測等	
平成28年度徳島県立農林水産総合技術支援センター整備運営事業に係る埋蔵文化財整理業務	清成遺跡	名西郡石井町	H28.4.1～H29.3.31	氏家、岡田	トレース、図版作成、観察表作成、編集レイアウト、遺物写真撮影、原稿執筆等	報告書300部刊行と発送

V 普及事業報告

平成 28 年度の普及事業は、埋蔵文化財の保護・活用と普及啓発を目的とし、指定管理者としての自主事業を中心に、従来の業務も継承しながら、更なる充実のための創意工夫を加えて実施した。

1 管理運営業務

収蔵庫資料整理等業務

埋蔵文化財保護の拠点である県立埋蔵文化財総合センターにおいて、県内の埋蔵文化財の保存・活用が一層図されることを目的とし、遺物保存処理、収蔵庫内の資料保管、検索ファイルの作成、図書受納等の業務を行った。

2 徳島県立埋蔵文化財総合センター（対象施設）の管理運営業務

県教育委員会から指定された同センターの指定管理者として、管理運営事業計画に記載した管理運営の基本方針（利用促進、サービス向上、コスト削減、施設の適正な維持管理、地域への貢献・連携、安全管理、環境への配慮）に沿って、適切な管理運営業務を実施した。

(1) 対象施設の利用状況

- ・期間 平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
- ・来所者数 13,111 人

(2) 自主事業の実施状況

① 埋蔵文化財企画展示

第 1 回 『とくしまの遺跡から』 レキシルとくしまミニ展示 1

- ・実施期間 平成 28 年 4 月 1 日（金）～5 月 29 日（日）
- ・来所者数 989 人

第 2 回 『アワコウカ楽のいっぴん～古代人とハス～』 レキシルとくしまミニ展示 2

- ・実施期間 平成 28 年 6 月 18 日（土）～8 月 21 日（日）
- ・来所者数 3,191 人

第 3 回 『触れる土器展示』 レキシルとくしまミニ展示 3

- ・実施期間 平成 28 年 7 月 23 日（土）～8 月 21 日（日）
- ・来所者数 2,699 人

第 4 回 合同企画展『長國の埋蔵文化財 参』

- ・実施期間 平成 28 年 8 月 27 日（土）～10 月 16 日（日）
- ・来所者数 1,152 人

第 5 回 『板野町の文化財 地蔵寺の経筒』 レキシルとくしまミニ展示 4

- ・実施期間 平成 28 年 12 月 3 日（土）～12 月 25 日（日）
- ・来所者数 701 人

②おもしろ古代体験

(7)『ゴールデンウイーク勾玉つくり』

・実施期間 平成 28 年 4 月 30 日（土）～5 月 8 日（日）

・参加者数 67 名

(8)『ほたるかごつくり』

・実施期間 平成 28 年 6 月 12 日（日）

・参加者数 43 名



ほたるかごつくりの風景

③アワコウコ楽デリバリー

第 1 回 『とくしまの縄文土器』徳島県庁県民広場展示 1

・実施期間 平成 28 年 6 月 3 日（金）～7 月 1 日（金）

第 2 回 『徳島城下町のくらし』徳島県庁県民広場展示 2

・実施期間 平成 28 年 12 月 16 日（金）～12 月 28 日（水）

第 3 回 『江戸時代のおもちゃ』徳島県庁県民広場展示 3

・実施期間 平成 29 年 3 月 17 日（金）～3 月 31 日（金）

④夏休みおもしろ古代体験

夏休み特別企画として、児童・生徒対象に古代体験を実施した。

『発掘体験 1』(82 名) 平成 28 年 7 月 24 日（日）

『組紐』(31 名) 平成 28 年 7 月 27 日（水）

『発掘体験 2』(88 名) 平成 28 年 7 月 28 日（木）

『ガラス玉』(150 名) 平成 28 年 7 月 31 日（日）～8 月 4 日（木）

『火おこし』(37 名) 平成 28 年 8 月 9 日（火）～8 月 10 日（水）

『勾玉つくり』(274 名) 平成 28 年 8 月 12 日（金）～8 月 16 日（火）

『草木染め』(55 名) 平成 28 年 8 月 19 日（金）

・体験者数 717 名

・来場者数 1,529 名

⑤古代体験まつり

古代体験を 1 日でたくさんできるイベントを実施した。

・実施内容 発掘体験、銅鐸、ガラス玉、勾玉、組紐、火おこし、竹鉄砲、草木染め等

・実施日 平成 28 年 10 月 30 日（日）

・来所者数 1,992 名



発掘体験の風景

⑥考古学専門講座 全 2 回

テーマ『自然科学と考古学－科学の力で謎を解き明かす古のくらし－』

・第 1 回 平成 28 年 11 月 20 日（日）

講演『樹種同定－木材の利用と人を取り巻く環境』

講師 中原 計 氏（鳥取大学地域学部准教授）

・第2回 平成28年12月18日（日）

講演『C14年代測定－弥生時代の曆年代観はどう変わってきたか』

講師 近藤 玲 氏（公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター専門研究員）

・受講者数 83名

⑦第2回四国地区埋蔵文化財センター巡回展『発掘へんろ－戦国時代の四国－』

四国各県の戦国時代の遺跡から出土した遺物を選出して企画展示を行った。

・実施期間 平成29年1月10日（火）～3月19日（日）

・来所者数 2,748名

関連イベント

(ア)『タイムスリップ！戦国時代』

・実施日 平成29年2月12日（日）

・参加者数 128名

(イ)『宴会の土器－かわらけ－を作ろう！』

・実施日 平成29年2月5日（日）

平成29年2月26日（日）

・参加者数 46名

(ウ)『吉野川中流域の遺跡めぐり～中世のお城を訪ねて～』

・実施日 平成28年3月5日（日）

・参加者数 41名



『中世のお城を訪ねて』の風景

⑧アワコウコ楽連続公開講座

・前期 平成28年8月28日（日）『長国の埋蔵文化財講演会』（65名）

平成28年9月18日（日）『アワの古墳 ナガの古墳』（3名）

・後期 平成29年2月19日（日）『戦国時代の阿波』（104名）

平成29年3月12日（日）『戦国時代の土佐・伊予・讃岐』（120名）

・総参加者数 292名

⑨まいぶんスケッチコンクール

受付係が中心となって、展示室にある遺物を題材として色鉛筆で絵を描くイベントを実施した。
実施後、作品掲示をし、優秀作品を選定した。

実施期間 夏休みを中心とする夏期（7月～8月）

・参加者数 159名

⑩アワコウコ楽ボランティア俱楽部

万葉の植物を楽しむプロジェクト・・・古の草花研究、植物の育成では「古代バス」を育てた。

古代ものづくりプロジェクト・・・・草木染めを研究し、イベントを開催した。

遺跡案内人プロジェクト・・・・県西の遺跡について研究し、現地ガイドを行った。

・その他センター自主事業において、会場設営や、準備、イベント運営に参加した。それぞれが各自自主的に参加し、ボランティア活動を行った。

・実施回数 実習、全体会合わせて 115 回

・のべ参加者数 343 名

(3) 徳島県立埋蔵文化財総合センター公式ホームページの管理

・アクセス数 33,843

(4) 団体来所対応 団体 1,855 人

月 日	団体名	学年	人数	見学	体験
1 4月 15日	関東方面愛好家グループ		7	○	
2 5月 10日	撫養小学校	4年	41	○	
3 5月 12日	北島南小学校	6年	82	○	○
4 5月 13日	貞光小学校	4～6年	71	○	
5 5月 25日	学島小学校	6年	11	○	○
6 5月 26日	新町小学校	6年	30	○	
7 6月 2日	板野西小学校	6年	22	○	
8 6月 9日	デイサービスセンター北島		15	○	
9 6月 28日	四国大学		7	○	○
10 6月 29日	木屋平小学校		5		○
11 7月 2日	板野東小学校	5・6年	61	○	
12 7月 3日	鴨島俳句の会		12	○	
13 7月 8日	富岡東小学校		80		○
14 7月 9日	北島子供会		30	○	
15 7月 12日	社会福祉法人 ゆうあい		22	○	○
16 7月 14日	北灘地区自治振興会		49	○	
17 7月 17日	名古屋市立大学		9	○	
18 7月 24日	木頭ふるさと探訪		23	○	
19 8月 4日	阿波市教育委員会社会教育課		44	○	
20 8月 23日	鳴門高等学校		4	○	
21 8月 24日	藍住南小学校		17	○	○
22 8月 27日	江南ライオンズクラブ		65	○	○
23 9月 16日	川田中小学校	6年	14	○	
24 9月 28日	明治大学友の会		24	○	
25 9月 29日	城北高等学校		16		○
26 10月 14日	丸亀城北小学校	6年	62	○	
27 10月 20日	八万小学校	5年	109	○	
28 10月 21日	板野南小学校	6年	38	○	
29 10月 21日	デイサービス どんぐり		10	○	
30 11月 4日	千松小学校	5年	72	○	
31 11月 11日	高志小学校	6年	23		○
32 11月 12日	鳴門教育大学附属小学校	5年	96	○	

月 日	団体名	学年	人数	見学	体験
33 11月 18日	あいランド		41	○	○
34 11月 25日	児童発達支援事務所 ねむの木		20	○	○
35 12月 2日	大俣小学校会		20	○	○
36 12月 7日	坂出老人クラブ		30	○	
37 1月 14日	郷土文化講座		59	○	
38 1月 21日	社会福祉法人 ジュニアクラブ蔵本		9		○
39 1月 31日	サンガリハビリプラザとくしま		8	○	
40 2月 14日	板野郡文化財保護審議会連絡協議会		50	○	○
41 2月 15日	加茂南小学校	6年	90	○	
42 2月 21日	東みよし町教育委員会生涯教育課		15	○	
43 2月 21日	藍住南小学校		5	○	○
44 2月 24日	福島小学校	6年	85	○	
45 3月 3日	児童発達支援事務所 ねむの木		55	○	○
46 3月 3日	応神小学校	6年	36	○	
47 3月 10日	鳴門教育大学附属小学校	6年	117	○	
48 3月 12日	阿南市ふるさと研究会		27		○
49 3月 21日	デイサービス		17	○	

3 いにしえから未来へ！「とくしまの歴史文化」発見・発信プロジェクト事業 埋蔵文化財速報展『2016 発掘とくしま』の実施

平成 27 年度に発掘した遺跡からの主要な出土品を展示し、その調査成果をいち早く県民に紹介するとともに、各種関連行事も実施し、郷土の歴史に対する理解と認識、文化財保護意識の向上に努めた。

- ・実施期間 平成 28 年 6 月 14 日（火）～ 7 月 10 日（日）
- ・実施場所 レキシルとくしま（徳島県立埋蔵文化財総合センター）
- ・速報展示 川原田遺跡（徳島市国府町）・田浦遺跡（小松島市田浦町）
黒谷川古城遺跡（板野郡板野町）・佃遺跡（三好市井川町）
- ・参加者数 740 名
- 関連行事
おもしろ古代体験『錢をつくろう』
- ・実施日 平成 28 年 7 月 3 日（日）
- ・来場者数 48 名



『錢をつくろう』の風景

4 その他の普及事業

(1) 埋文 WEB の管理運営

現地説明会の案内・各種イベント案内・発掘作業員などの募集案内や公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの活動内容全般を掲載した。

- ・アクセス数 13,422

(2) 埋蔵文化財センター一年報の刊行

- ・埋蔵文化財センター一年報 Vol27 500 部

(3) 各種研修の受け入れ

①徳島県教育委員会 教職員初任者研修会

県教職員研修課主催の初任者研修の一環として、埋蔵文化財普及業務研修を行った。

- ・期日 平成 28 年 8 月 2 日（火）～8 月 4 日（木）（4 名）

平成 28 年 8 月 8 日（月）～8 月 10 日（水）（4 名）

平成 28 年 8 月 17 日（水）～8 月 19 日（金）（4 名）

平成 28 年 8 月 23 日（火）～8 月 25 日（木）（4 名）

・研修内容、講義『埋蔵文化財について』『埋蔵文化財センターの業務』

整理業務・収蔵庫の施設 見学、常設展・企画展見学、普及活動体験

講義『埋蔵文化財センターの活用方法』

- ・参加者数 16 名

②徳島県教育委員会 社会科研修講座

徳島県立総合教育センター主催で、社会科担当教員を対象として郷土について学ぶ研修を行った。

- ・期日 平成 28 年 8 月 9 日（火）

・研修内容 講義『埋蔵文化財の普及』 実習『古代体験の教育的意義』

- ・参加者数 19 名

③職場体験学習

中学生の進路指導の一環として職場体験を行った。

・研修内容 普及業務体験（徳島県立埋蔵文化財総合センター）

・平成 28 年 7 月 6 日（水）～平成 28 年 7 月 7 日（木）（板野郡板野中学校 3 名）

・平成 28 年 8 月 5 日（金）（鳴門市大麻中学校 1 名）

④高校生インターンシップ

高校生の進路指導の一環としてインターンシップを行った。

・研修内容 普及業務体験（徳島県立埋蔵文化財総合センター）

・平成 29 年 1 月 25 日（水）～平成 29 年 1 月 26 日（木）（徳島県立板野高等学校 3 名）

(4) 職員の対外活動

No	期 日	内 容	参加者
1	4月1日～3月31日	藍住町埋蔵文化財監査委員会委員	福家
2	4月1日～3月31日	「鳴門の満潮」世界遺産登録学術調査検討委員会委員	福家
3	4月1日～3月31日	あわ文化教育体系化検討委員会副会長	福家
4	4月1日～3月31日	徳島の橋を語る会副会長	福家
5	4月1日～3月31日	公益財団法人徳島銀行生涯学習財団評議員	福家
6	4月1日～3月31日	鳴門市文化財保護審議会委員	福家
7	4月1日～3月31日	小松島市文化財保護審議会委員	藤川
8	4月1日～3月31日	藍住町文化財保護審議会委員	氏家
9	4月1日～3月31日	阿波市文化財保護審議会委員	大北
10	4月22日～23日	四国地区埋蔵文化財センター巡回展「続・発掘へんろ」展示設営と実行委員会への出席 (愛媛県松山市・松山市考古館)	藤川・大北
11	6月4日	四国大学生涯学習センター 前期公開講座「奈良を旅する」講師	藤川
12	6月15日～17日	第37回全国埋蔵文化財法人連絡協議会総会への出席(鹿児島県・霧島市)	福家・藤田
13	7月16日～17日	四国地区埋蔵文化財センター巡回展「続・発掘へんろ」展示設営と実行委員会への出席 (高知県南国市・高知県埋蔵文化財センター)	藤川・大北
14	7月21日	小松島市ふるさと講座講師	藤川
15	9月29日	四国地区埋蔵文化財センター巡回展「続・発掘へんろ」実行委員会への出席 (香川県坂出市・香川県埋蔵文化財センター)	藤川・大北
16	9月15日～16日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会中国・四国・九州ブロック会議への出席(高知県高知市)	藤田・藤川
17	1月6日	四国地区埋蔵文化財センター巡回展「続・発掘へんろ」実行委員会への出席 (徳島県立県埋蔵文化財総合センター)	藤川・大北
18	2月16日～17日	第10回木簡ワークショップへの出席(奈良県奈良市・独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所)	藤川
19	3月16日	四国地区埋蔵文化財センター巡回展「続・発掘へんろ」実行委員会への出席 (徳島県立県埋蔵文化財総合センター)	藤川・大北

(5) 考古資料の活用

利用回数 40回 利用点数 3,021点

	申請様式		資料名等	点数	申請者	利用目的等
	開始日	終了日				
1	展示(松山会場)		内通寺遺跡出土遺物 中庄東遺跡出土遺物	30	(公財) 徳島県埋蔵文化財センター 理事長 福家 清司	四国地区埋蔵文化財センター「続・発掘へんろ展」に係る掲載および展示
	4月 23日	7月 10日				
2	展示(高知会場)		内通寺遺跡出土遺物 中庄東遺跡出土遺物	30	(公財) 徳島県埋蔵文化財センター 理事長 福家 清司	四国地区埋蔵文化財センター「続・発掘へんろ展」に係る掲載および展示
	7月 16日	9月 30日				
3	展示(香川会場)		内通寺遺跡出土遺物 中庄東遺跡出土遺物	30	(公財) 徳島県埋蔵文化財センター 理事長 福家 清司	四国地区埋蔵文化財センター「続・発掘へんろ展」に係る掲載および展示
	10月 12日	12月 22日				
4	展示(徳島会場)		内通寺遺跡出土遺物 中庄東遺跡出土遺物	30	(公財) 徳島県埋蔵文化財センター 理事長 福家 清司	四国地区埋蔵文化財センター「続・発掘へんろ展」に係る掲載および展示
	1月 10日	3月 19日				
5	展示・掲載		阿波國分尼寺出土遺物	27	(公財) 徳島県埋蔵文化財センター 理事長 福家 清司	四国地区埋蔵文化財センター「続・発掘へんろ展」パネル展示、広報に使用
	1月 7日	3月 17日				
6	借用・掲載		觀音寺遺跡「論語墨書き」 木版	1	(公財) 日本漢字能力検定博物館 代表理事長 高坂 鋼三	漢字博物館でのパネル使用
	6月 29日	7月 30日				
7	掲載		蓮華池遺跡須恵器	1	株式会社 黄桜社 代表取締役 久保 博彦	同志社国際中学校の社会科入試用問題集に掲載
	6月 4日	3月 1日				
8	借用・掲載		矢野陶跡出土状況写真	1	有限会社 三猿社 代表取締役 安田 清人	雑誌「別冊宝島 古代史再検証競技使人伝」に掲載
	4月 23日	5月 7日				
9	展示		矢野遺跡出土遺物 田井遺跡出土遺物	11	(公財) 徳島県埋蔵文化財センター 理事長 福家 清司	「アワコヨカ奈テリバリー」県庁裏広場に展示
	6月 3日	7月 1日				
10	実見		矢野遺跡出土織文土器 荒川遺跡出土織文土器	308	国学院大学木村短期大学 専任講師 中村 耕作	縄文時代後期における杏形土器と他器種の関係性についての研究
	6月 16日					
11	展示		阿波國分尼寺出土軒丸瓦 敷地遺跡出土青磁碗	5	(公財) 徳島県埋蔵文化財センター 理事長 福家 清司	レキシル徳島ミニ展示「古代人とバス」に使用
	6月 12日	8月 14日				
12	掲載		大代古墳・西山谷古墳 群出土資料・写真等	18	徳島市教育委員会 教育長 石井 博	特別企画展「刀劍の考古学」図録に掲載
	9月 16日	9月 16日				
13	実見		福特遺跡出土織文土器	1	徳島県立博物館 館長 濑浅 利彦	土製飾りの可能性を探るための実見
	7月 20日	7月 20日				
14	借用		末石道跡出土遺物 中庄東遺跡出土遺物	20	東みよし町教育委員会 教育長 川原 良正	特別展示「みよし町の道跡展」に展示
	8月 5日	9月 16日				
15	掲載		徳島城下町跡徳島1丁目 11月 25日 11月 25日	19	(公財) 徳島県埋蔵文化財センター 顧問 山口 智之	木蔭学会刊行「木蔭研究第38号」巻頭版・挿図に掲載
			目地点出土木蔭写真等			
16	借用		山崎古墳出土遺物 8月 27日 10月 3日	82	(公財) 徳島県埋蔵文化財センター 理事長 福家 清司	合同企画展「長国の埋蔵文化財 参」「アワの古墳 ナガの古墳」に展示
		神谷道跡出土遺物等				
17	借用		下牛筋道跡出土遺物 8月 16日 10月 24日	29	海陽町立博物館 館長 岡田 啓	合同企画展「長国の埋蔵文化財 参」「勞生時代から古墳時代への展開」に展示
		大山天神山道跡出土遺物等				
18	借用		赤坂道跡出土遺物 立江馬道道跡出土遺物等	58	小松島市教育委員会 教育長 吉岡 誠	合同企画展「長国の埋蔵文化財 参」「長国の金属」に展示
	8月 26日	10月 16日				
19	借用		深瀬道跡出土遺物 8月 23日 10月 20日	40	河南市教育委員会 教育長 新居 正秀	合同企画展「長国の埋蔵文化財 参」「長国の石製品」に展示
		蘆原谷道跡出土鉢刺 西山谷古墳群出土鉢刺等				
20	借用		7	徳島市教育委員会 教育長 石井 博	特別企画展「刀劍の考古学」に展示	
	9月 9日	12月 2日				

	申請様式		資料名等	点数	申請者	利用目的等
	開始日	終了日				
21	掲載		矢野道跡出土鉄物	2	四條畷市教育委員会 教育長 嘉岡 巧一	特別展「ヒスイのきらめき－北河内からみた交流と縄文の祭り」に掲載
	8月15日	12月18日				
22	借用		萩原1号墓主体部分付 着砂岩	2	鴨門教育大学 講師 箕原康夫	石井町ふるさと歴史を学ぶ会の講座に使用
	8月24日	8月26日				
23	借用		中島田道跡出土銭貨 東原道跡出土銭貨等	49	牟岐町教育委員会 教育長 増野 高明	同企画展「長國の埋蔵文化財 特集」「長國の銭貨」に展示
	8月23日	10月28日				
24	実見		蓬 谷（II）2号墳・ 西山谷古墳出土鉄剣等	15	大阪大学文学研究科研究室 Joseph Ryan	大阪大学文学研究科 文化形態論収集での博士論文に掲載
	9月7日	9月7日				
25	借用		弥生の精華 矢野劍舞 2K対応動画	1	海陽町立博物館 館長 田中 啓	合同企画展「長國の埋蔵文化財 特集」「弥生時代から古墳時代への展開」に使用
	9月2日	10月24日				
26	実見		深瀬道跡出土編文土器	826	(公財) 愛媛県埋蔵文化財センター 館長 中野 良一	土器に含まれる鉱物組成のデータ集積
	9月23日	9月24日				
27	実見		名東道跡出土土器	14	三重県教育委員会社会教育・文化財係 課長 川部 浩司	縄文執筆のため
	10月18日	10月18日				
28	借用		円通寺道跡出土土器 宮ノ本道跡出土土器等	8	同志社大学歴史資料館 館長 石塚 刚子	シンポジウム「手づくりかわらけの西・東」において資料として展示検討
	10月12日	10月19日				
29	実見		徳島城下町跡徳島1丁 目地出土木簡等	11	徳島県立博物館 館長 湯浅 利彦	部門展示「絵図と考古資料から見る城下町徳島」開催に伴う資料調査
	10月9日	10月9日				
30	借用		徳島城下町跡徳島1丁 目地出土木簡等	15	徳島県立博物館 館長 湯浅 利彦	部門展示「絵図と考古資料から見る城下町徳島」開催に伴う資料調査
	10月26日	1月26日				
31	実見		観音寺道跡出土木簡	11	香川県立ミュージアム 館長 国分 伸二	特別展示「古代の頭傾（仮）」に係る資料調査
	11月17日	11月17日				
32	実見		南藏本道跡出土土器	3	徳島大学大学院社会産業理工学研究部 教授 中村 豊	文部科学省科学研究費に関わる研究
	11月30日	11月30日				
33	実見		矢野道跡出土土器 荒川道跡出土土器	1,107	(公財) 愛媛県埋蔵文化財センター 中野 良一	土器に含まれる鉱物組成のデータ集積
	11月27日	11月28日				
34	実見・撮影		矢野道跡出土土製板面	1	小野 忠博	「縄文美術館」(平凡社刊) 改訂版の編集準備
	12月5日	12月5日				
35	実見・実測・撮影		名東道跡出土铁器 南藏本道跡出土铁器	33	広島大学大学院文学研究科 教授 野島 永	弥生時代の铁器製作技術に関する研究 論文作成
	12月22日	12月22日				
36	掲載		鴨門市遠望空撮写真	1	阿波学会 会長 石田 啓祐	阿波学会紀要第61号「鴨門市総合学術調査報告書」写真回版に使用
	3月1日	3月1日				
37	実見・撮影		庄・躑躅道跡出土木製品 2月16日	50	徳島県立博物館 館長 湯浅 利彦	部門展示「弥生の暮らしを伝える木製品」の資料調査
	2月16日	2月16日				
38	借用		庄・躑躅道跡出土木製品 3月22日	50	徳島県立博物館 館長 湯浅 利彦	部門展示「弥生の暮らしを伝える木製品」に展示
	6月30日					
39	転載		西長峰道跡出土分銅形 土製品写真	1	株式会社 同成社 代表取締役 山脇 由紀子	「弥生時代人物造形品の集成的研究」 に掲載
	2月23日	3月31日				
40	展示		南前川1丁目道跡等出 土玩貝類	73	(公財) 徳島県埋蔵文化財センター 理事長 福家 清司	「アワコウコヤデリバリー展示」県庁 黒民広場に展示
	3月17日	3月31日				

(6) 教材等の貸出

移動教材セット等の貸出状況 2回

	団体名	人数	貸出日	教材名
1	美馬市教育委員会	181	4月19日	移動教材セット
2	板野東小学校	20	7月20日	火おこしセット

(7) 出前授業・体験等の実施 19回 (参加者 546人 40時数)

	種	団体名	人数	実施日	内容
1	小	阿南市桑野小学校	12	4月18日 午後	移動教材セット・PPT
2	小	徳島市不動小学校	18	4月22日 午後	移動教材セット・勾玉つくり
3	小	吉野川市山瀬小学校	37	4月26日 午前	移動教材セット・勾玉つくり
4	小	上板町神宅小学校	51	4月9日 午前	移動教材セット・勾玉つくり
5	小	徳島市沖洲小学校	86	5月10日 午前	移動教材セット・PPT
6	小	徳島市八万小学校	103	5月6日 午後	移動教材セット・DVD
7	小	石井町高川原小学校	54	5月16日 午前	勾玉つくり
8	小	松茂町長原小学校	7	7月13日 午前	移動教材セット・PPT
9	小	吉野川市知恵島小学校	24	6月22日 午前	勾玉つくり
10	小	阿南市福井小学校	21	6月17日 午後	勾玉つくり
11	公	石井小学校むかし体験クラブ	10	6月8日 午後	火おこし
12	公	石井小学校むかし体験クラブ	10	9月14日 午後	勾玉つくり
13	公	石井小学校むかし体験クラブ	10	9月21日 午後	勾玉つくり
14	小	小松島市児安小学校	34	7月5日 午後	田浦・新居見遺跡出土遺物
15	公	石井小学校むかし体験クラブ	10	10月12日 午後	勾玉つくり
16	特支	徳島県立板野支援学校	2	10月5日 午後	移動教材セット・PPT
17	小	鳴門市堀江南小学校	7	10月24日 午後	火おこし
18	小	鳴門市大津西小学校	19	11月8日 午前	勾玉つくり
19	公	阿南市富岡公民館	31	2月18日 午前	勾玉つくり

(木村)

徳島県埋蔵文化財センター年報 Vol.28

—平成28（2016）年度—

発行日 平成30(2018)年2月24日

編集・発行 公益財団法人 徳島県埋蔵文化財センター
〒 779-0108 徳島県板野郡板野町犬伏字平山86番2
TEL (088) 672-4545

HP <http://www.tokushima-maibun.net>
E-mail awapac@tokushima-maibun.net

印 刷 徳島県教育印刷株式会社